

令和4年度 第6回金谷区地域協議会

次 第

日時：令和4年8月24日(水)午後6時～

会場：福祉交流プラザ 第1会議室

(全体：1時間20分程度を予定)

1 開 会

2 議題等の確認

3 報告

(1) 地域協議会会長会議について

4 議題

(1) 金谷区の地域活性化について

5 その他

6 事務連絡

7 閉 会

「(仮称)地域独自の予算」の概要(案)

1 「(仮称)地域独自の予算」をつくる背景、目的

- 上越市は、広い面積の中に、多くの山々や長い海岸線、豊かな水田、利便性に優れた市街地などがあり、地域ごとに育んできた歴史や文化なども様々です。
- この多様性は当市の魅力ですが、人口減少や少子高齢化などが進む中では、地域の活力を保つことが次第に難しくなっています。
- このような中、それぞれの地域の課題を解決し、活力の向上を図るためには、全市的な取組に加えて、地域の実情にあった取組を更に実現していくことが必要と考え、「(仮称)地域独自の予算」をつくることとしました。

2 「(仮称)地域独自の予算」で大切にしたいこと

- その1 地域住民の皆さんが、住み続けていく上で誇りや愛着を持ち、生活の満足感や質を高めていけるようにしたいと考えています。
- その2 地域と市が一緒になって、地域資源の活用や地域住民の皆さんの連携が深まるようにしたいと考えています。
- その3 地域の団体や地域協議会が取組を提案できるとともに、地域住民の皆さんに身近な機関である総合事務所やまちづくりセンターが、木田庁舎の各課等と同じように予算を要求できるようにしたいと考えています。



3 「(仮称)地域独自の予算」のポイント

※「総合事務所等」には、まちづくりセンターを含みます。

(1) 対象とする取組（「(仮称)地域独自の予算」で実現したい取組）

① 地域資源を活用した新たな収入源や雇用の創出等につながる取組

特産品開発、販売促進、就業促進、交流人口増など

【取組のイメージ】

- 地元の道の駅や青空市場等で販売する農産加工品（レトルト、漬物、ファストフード等）の開発・製造・販売
 - 例 妙高市長沢地区「手作りこんにやく」
富山県南砺市「いもがい餅」（里芋入りおはぎ）
- 地元の森林や耕作放棄地を活用した、大都市部をターゲットにした苔や山菜の栽培・販売
 - 例 島根県江津市「ごうつコケプロジェクト」
岐阜県郡上市「山菜王国郡上づくり構想」
- 地元の食材と施設を活用した、自然食を提供するレストランや農村レストランの運営
 - 例 広島県神石高原町(じんせきこうげんちょう)「自然食レストラン高原の風」
三重県多気町(たきちょう)「せいわの里まめや」
- 地域の農作業と食品製造事業等の組み合わせ、集落農業の受け皿、空き家の模様替え・転貸などのビジネスモデルによる地域課題の解決と新たな雇用の場の創出（人口減少対策）
 - 例 清里区「星の清里協同組合」
島根県邑南町(おおなんちょう)出羽(いずわ)地区「合同会社出羽」
- 地域の歴史的資産、自然資産等を活用した集客・観光の創出
 - 例 頸城区「くびき野レールパーク公開及び枕木交換事業」（地域活動支援事業）
中郷区「二本木駅を核とした地域活性化事業」（地域活動支援事業）

② 地域での暮らしやすさにつながる助け合い等の取組

生活支援、郷土愛の醸成、人材育成 など

【取組のイメージ】

- 移動サービスと日用品小売店（日用品供給事業）を組み合わせた高齢者の外出支援
 - 例 岩手県北上市口内町(くちないちょう)地区「店っこくちない」
十日町市仙田地区「道の駅 瀬替えの郷せんだ」
- エネルギー供給の拠点となるガソリンスタンドの経営引継ぎ
 - 例 高知県四万十市大宮地区「大宮SS」、宮城県丸森町筆甫(ひつぽ)地区「筆甫SS」
- 地域の自然環境等の活用・保全や、地域の生活拠点に活気を生み出す事業
 - 例 金谷区「滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動」（地域活動支援事業）
名立区「名立駅マイ・ステーション作戦事業」（地域活動支援事業）
- 地域づくりの実現や新たな取組の創出に向けた人材の研修や視察の実施、災害に対する備えと互助の精神を学ぶ講演会の開催
 - 例 大島区「大島地区活性化ビジョンの実現に向けた視察研修事業」（地域活動支援事業）
三和区「東日本大震災にまなぐ事業」（地域活動支援事業）
- 区内多くの住民の参加が見込まれ、地域の連帯感醸成が期待される地域のイベント、偉人の顕彰
 - 例 高士区「ふるさと高士まつり」（地域活動支援事業）
大瀧区「小山作之助の功績を称える事業」（地域活動支援事業）

対象としない取組

- ・新たな公の施設や市道などのインフラ整備
- ・単なる備品の購入・設備の設置など、地域の活動が伴わない取組
- ・公の施設の建設や修繕、新たな土地利用・行政サービス等を市に求めるために行う取組
- ・地域の住民や団体へ現金・金券などを配る・貸す取組
- ・政治活動・宗教活動を目的とする取組
- ・公序良俗に反する取組 など

(2) 予算の上限額や取組の終期

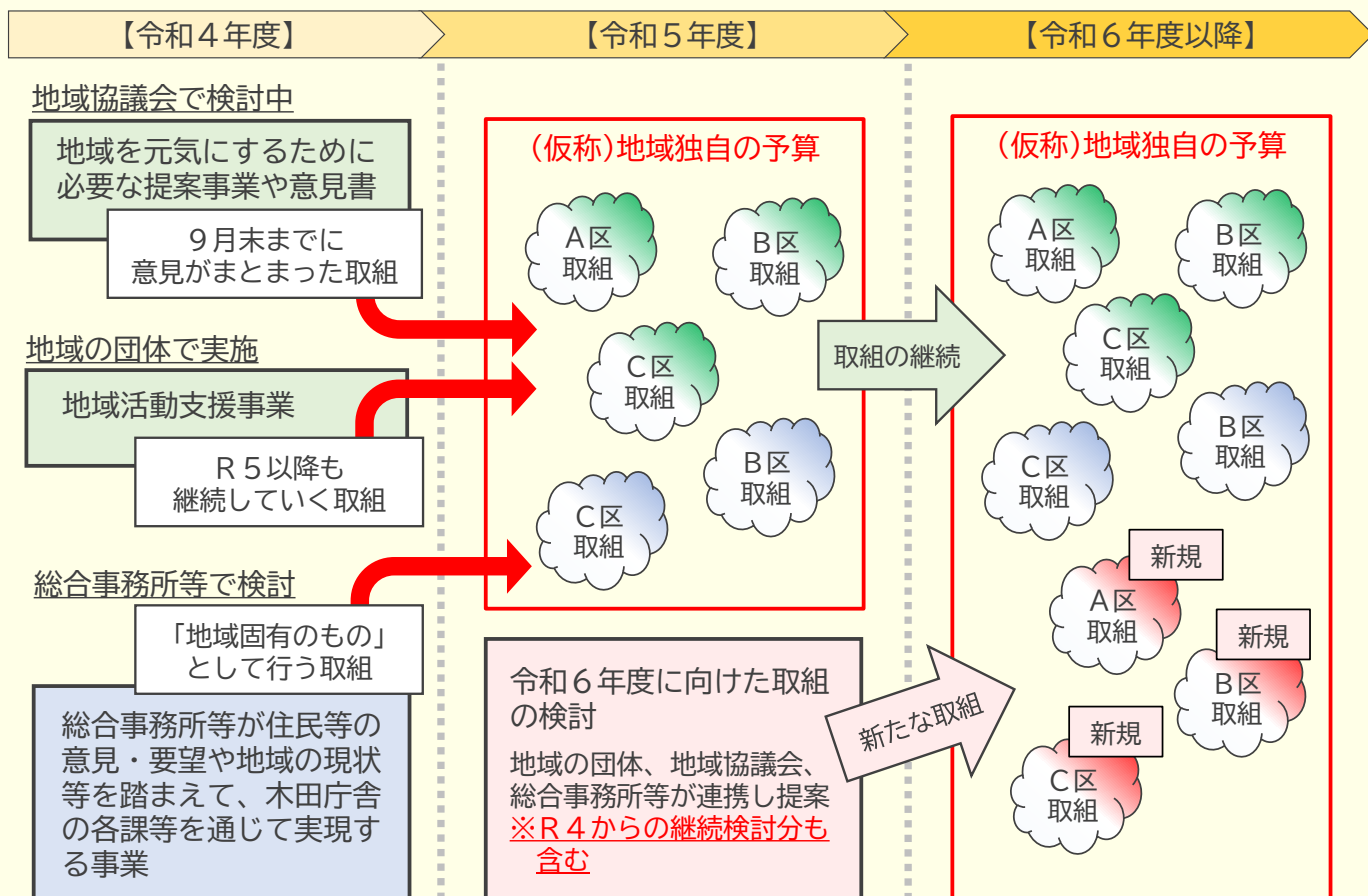
① 上限額

- ・原則、地域自治区ごとの取組件数や金額、また、1件当たりの金額の上限額は設けません。
※予算化に当たっては、実現したい取組に対して真に必要な額を精査していきます。
- ・地域の団体に対して市が補助金を支出する場合は、補助率の上限を7/10とします。ただし、これまで地域活動支援事業を活用してきた取組のうち、左記(1)①・②に該当する取組は、令和5年度予算での補助率の上限10/10とし、令和8年度までに段階的に上限を7/10に見直します。

② 「(仮称)地域独自の予算」で実現する取組の終期

- ・終期は設けませんが、取組は4年ごとに取組成果を振り返り、今後の公費支出の可否や実施方法などの取扱いを改めて見直します。
※例 令和5年度から継続していく取組は、8年度に見直します。
※予算化する取組は、複数年度の継続を見込む取組であっても、毎年度、市議会での予算案の議決を要します。

◎ 「(仮称)地域独自の予算」でつくり上げる予算のイメージ図



「全市的な制度・事業」として行う取組は、木田庁舎の各課等がとりまとめ、これまでどおりの予算要求の手順を踏んで、全市の取組として実施

(3) 予算ができるまでの流れ

① 取組の提案

- ・ **地域の団体や地域協議会は、希望に応じて、総合事務所等に取組を提案**します。
※提案された取組は、市の予算査定や市議会での予算案の議決を経て最終的に予算化されることから、提案されたことをもって、取組の実現を約束するものではありません。
※総合事務所等も取組を提案します。

② 関係者による取組案の具体的な検討

- ・ **提案者が中心となり、関係する団体や総合事務所等と互いに連携しながら、取組の実現に向けて調査・検討**します。

○ **地域の団体が提案し、自らの団体や総合事務所等が実施主体となる場合、地域の団体は総合事務所等とともに調査や検討を行います。また、他の団体に取組の一部をお願いする場合、地域の団体は総合事務所等と話し合い、関係する団体に調査や検討に加わるよう総合事務所等と一緒に働きかけます。**

○ **地域協議会が提案する場合、地域協議会は関係する地域の団体や総合事務所等とともに、調査や検討を行います。**

○ **総合事務所等が提案する場合、総合事務所等は取組に関わる地域の団体に調査・検討に加わっていただくよう働きかけます。**

※ 調査や検討の内容により、木田庁舎の各課等も連携や実務を担います。(次の③も同じ)

※ 総合事務所等は、適宜、地域協議会と情報共有していきます。

③ 予算要求

- ・ **総合事務所等は、予算の原案をつくり、財務部に要求**します。
※15区では、まちづくりセンターの体制を考慮し、自治・地域振興課がとりまとめて要求します。
※地域の団体は、総合事務所等と連携しながら次年度の取組実施に向けた準備を始めます。

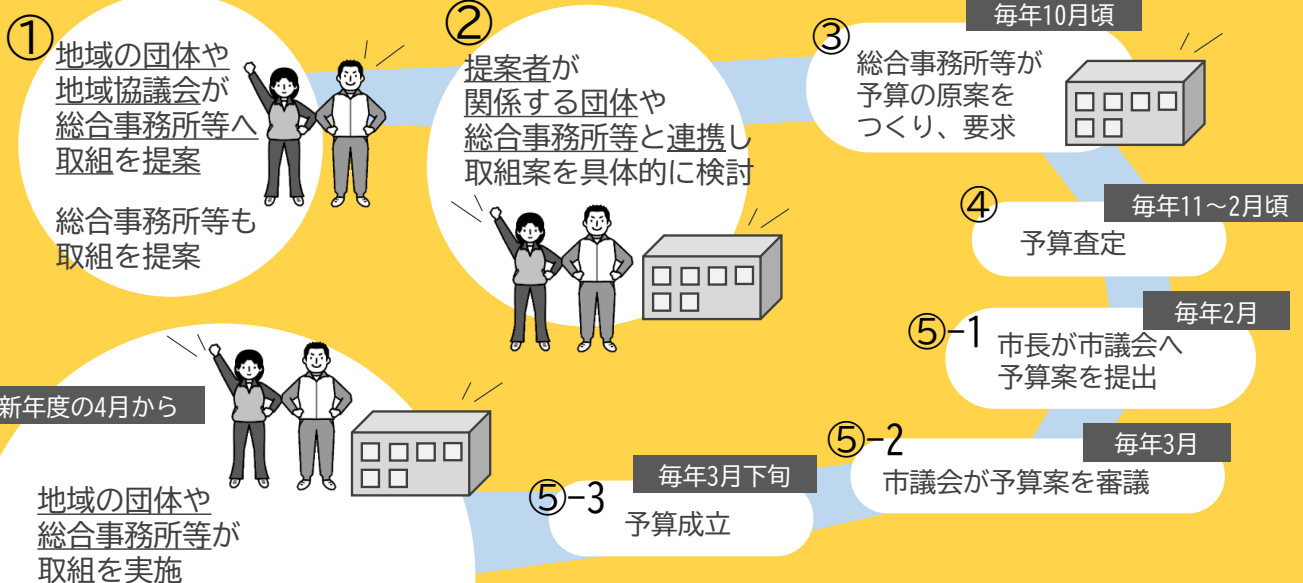
④ 予算査定

- ・ 予算要求後は、財務部を中心とした協議を経て、**最終的に市長が予算案への計上の可否を決定**します。

⑤ 市議会へ予算案を提出 → 市議会の予算審議 → 予算成立

- ・ **市長が市議会へ予算案を提出**し、**市議会が予算案を審議**します。

「(仮称)地域独自の予算」ができるまでのイメージ(令和5年度予算案から実施)



今後の議論に向けた調査結果

○調査概要

調査対象者	金谷区地域協議会委員 15 人
調査期間	令和 4 年 7 月 11 日～21 日
回答提出者数	14 人
回答率	93.3%

○調査項目集計結果

- 1 令和 4 年度に採択した 14 件の地域活動支援事業の中で、令和 5 年度以降も継続して実施してほしい事業の記入欄に○を記入してください。(複数回答可)

○の数	整理No.	事業名
14	2	正善寺ダム周辺の紫陽花の維持管理及び水質保全と環境美化事業
8	1	滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業
6	4	第 3 回キャンプ体験教室 地域観光事業
6	6	ミニ新聞「まめでやったけえ」発行継続及び冊子増刷・活用によるきずな拡大事業
6	11	大貫 4 町内合同避難訓練・防災体験事業
6	13	金谷若者まちづくり参画事業
3	5	毘沙門天案内看板及び滝寺砦周辺の整備並びに古道の整備事業
2	3	安全安心見守り防犯活動事業
2	8	平山で花&夢いっぱい咲かせよう運動事業
2	10	バレーボール文化の普及及び青少年健全育成事業
2	12	金谷区飯支部の交通安全確保事業
1	7	金谷区（灰塚駐在所管内）の交通安全確保事業
1	9	「金谷山とレルヒ」～レルヒ少佐と心かよわせた仲間たち～事業
0	14	親子の「いきるチカラ」向上事業

- 2 令和 3 年度以前に採択した地域活動支援事業（令和 4 年度に採択した事業を除く）の中で、令和 5 年度以降も継続して実施してほしい事業があれば、事業名をご記入ください。(複数回答可)

- ・里道（旧後谷線）の整備事業（5 人）
- ・金谷山太鼓継承・振興事業（3 人）
- ・金谷地区児童のスポーツ振興及び子どもの健全育成（1 人）
- ・継続的に草刈り、ゴミ拾いなど環境保全を行ってきた活動（1 人）

- 3 金谷区の地域活性化に結び付くと考えられるアイデアやヒントなどをお持ちの方は、自由に記載してください。タイトルやキーワードのみでも構いません。

※委員のアイデア等は、受付順に記載しています。

委員A

金谷区のシンボルとも言える『金谷山』を中心とした地域活性化

ポイント：道の駅を整備 それを核とした 周辺既設施設の更なる活性化

金谷地区公民館との連携

ヨーデル金谷との連携

BMX場・金谷山公園とのつながり

周辺の生徒・学生との連携（作物販売や職業体験）

農家産直市場

子育て・こども広場 ☆子育てママが運営STAFF

ふるさと納税

○上越市内 各区が独自のふるさと納税品を考える。

単に商品を集める事ではなく、地域の付加価値を探る契機ともなる。

○母校支援

委員B

○ひとくちに金谷地区といっても平素の生活実態が分かれており、ある事業で全体に元気が出るとは限らない。

○昨年までの事業の中には、市の行政が本来、直接やる事業が二、三あった。

○事業の中には、市が発案して、関係する地域の意見を聞いて地域団体の意見書を三者で検討した方がよいのがあった。

委員C

金谷区の活性化について

（箇条書きですが思いつくままです。）

○世の中、何となく閉塞感が横たわっています。

※コロナ禍、戦争・内戦、温暖化、物価高、高齢化、少子化、気候変動、海洋汚染に原発ゴミ、食糧問題にエネルギー不安、格差社会、健康不安等々

○こんな中で何が一番大切か…、国の政策や方向性は一番ですが、そこはその筋に任せることにして、私たちにできることは…と考えます。

○身の回りのこと、地域の問題点。私の周りでは（高齢化の問題）が一番、通院、介護、認知、孤立化等々。

○でも、よく考えれば（少子化＝若者の問題）が一番のように思います。

○観光も安心安全も大切ですが、その基となるのは「人」です。

○人への投資が何より肝心かと思えます。特に（若者と子ども）だと思えます。

○「若者と子どもたちが安心して暮らせる環境づくり」に力を入れるべきかと。

○何より「若者が集まれる場」づくり。コロナ禍で、若い人が触れ合う機会も、顔さえ満足に見られない環境はかわいそう、何とかありませんか？このままじゃあと十年は続きそう！

○それから「食べていける環境」づくり。もちろん「職業の確保」が前提ですが。パンデミックによる都市封鎖下、ウクライナ戦下、要は食べ物と、冷暖房の確保。燃料の高騰のみならず、お金を出しても買えないかも…という不安。今、ギリギリのところで生活している若者にとっては死活問題。

(結論からの提案です。)

- ・上越市は、中山間地の農地が山ほど欠伸しています。ここの活用を提案します。
- ・先日、中ノ俣では、県道（畑のそば）と家の庭先にクマを見た人がおります。鹿にカモシカ、猪、タヌキ、ハクビシンは常態化。住宅の周り、村の周りは草やぶ状態です。
- ・若者（に限らず）に空き家をシェアハウスの的に提供し、空き地を耕して食糧自給と、薪ストーブ中心の燃料自給（放置された山林や、手入れのできてない山が山ほど！）に貢献してもらえないでしょうか。もちろん基礎的な支援は必要ですが、若者の交流の場もでき、鳥獣被害対策にもなります。

○世の中、何もかもデジタル社会ですが、暮らしの基本はアナログ。

○いずれ、（遠くない将来）食料と燃料は大問題になるでしょう。そういう意識を醸成してもらうためにも、先駆的な取組になるのではと考えます。

○金谷区から発信できたら嬉しいです！

委員D

1 金谷区地域協議会として、これから何をすべきかを考えたとき、「金谷区観光・史跡探訪の構築」を検討課題としたらいかがでしょうか。

2 金谷区の重要観光拠点として

- (1) 正善寺ダム周辺（アジサイロード等含む）
 - ・正善寺アジサイロードの通年環境整備経費
- (2) 金谷山公園周辺（スキー発祥記念館等含む）
 - ・会津墓地の通年環境整備費経費
- (3) 儀明川ダム周辺（これからの環境整備計画等）
 - ・儀明川ダムの景観・誘致等の未来計画図の構築
- (4) 南葉高原周辺（観光客誘致等に関する案件）
 - ・南葉高原アクセス道路等の整備費

*観光に係る維持管理通年経費の算出並び予算化を図るとともに、観光ルートの構築を検討する。

3 金谷区の史跡・自然の維持管理並び調査

- (1) 金谷北部地区（滝寺不動尊・滝寺砦等）
- (2) 金谷区中部地区（会津墓地・医王寺等）
- (3) 金谷区北部地区（旧後谷線整備・灰塚国蔵菩薩像等）

*金谷区に存在する「上越市文化財」等の洗い出しと維持管理通年経費の算出並び予算化を図るとともに、観光ルートの構築を検討する。

4 その他の問題点

- (1) 上越市における「地域協議会」の立場（権限）の明確化
- (2) 金谷区における各種団体との連携方法（運営団体、維持管理団体、町内会長、市議会議員等）
- (3) 金谷区地域協議会で活用できる調査費や日当等の予算獲得。

これらの（2～3）の作業を同時進行する場合は、現組織体制では困難であることは顕著である。したがって、全く別組織として再出発するか長期間にわたって段階的に遂行するかである。

委員E

金谷地区公民館の地域協議会の取組について

金谷地区公民館は、金谷区全体に関わる大きな問題です。付帯事項等が反映されるように振興協議会、町内会長会の組織に金谷区地域協議会の代表を送り、市側との交渉を一本化すべきと考えます。

委員F

レストランヨーデル金谷の近傍にクラフトビール工房を！

金谷区は、「スキー発祥の地」金谷山を中心に、歴史と自然豊かな地域です。県営グラウンドが、弥彦に続き二番目に建設された場所であるほか、山麓には国宝薬師如来坐像が安置されている薬師堂のある医王寺（平安末期 1087 年建立）や、明治の自由民権運動の足跡を記す「高田事件碑」、戊辰戦争での幕軍、官軍双方の墓所などがあり、歴史に触れる格好の場所ともなっています。

その金谷山麓には、食をテーマとした事業を通して、市民の財産ともいえる金谷山の緑豊かな自然を活用し、地域農林水産業の活性化を図ろうと約 30 年前から「レストランヨーデル金谷」が営業しています。ヨーデル金谷は、上越の食材を使った本格フレンチからカジュアルな洋食まで幅広いメニューとゆっくりと過ごせる空間づくりで、金谷地域の魅力を発信しつづけています。

さて、このヨーデル金谷の西側には、地元の良質な水を活用し職人が手作りするビールを生産する「クラフトビール工房」を建設する計画が、かつてありました。この計画は、発案から順調に推進され、基本設計も終わり工事発注のための入札が行われる寸前までこぎつけましたが、計画を推進していた市長が選挙で交代したため、夢と潰えさりました。

しかし、酒造りでは日本有数の伝統を持つこの地では、クラフトビール工房の建設は、地域振興に大きな力を発揮することは間違いありません。また、レストランとの連携で、生産したビールを大いに広めることも可能です。

一方、上越市は、市が運営する観光施設等で赤字になっている施設を廃止あるいは売却する方向のようであり、ヨーデル金谷も 3 年後には存廃を含めた検討対処施設になっていると聞きます。しかし、ヨーデル金谷は、地域にとって欠くことので

きない施設であり、単純な経済問題のみでなくしてはなりません。また、市民の憩いの場所は、市が運営し、財源を確保して市民サービスを行うことが行政の責務であり、住みやすい町づくりにつながります。

そこで、クラフトビール工場の建設でレストラン経営をより活性化させ、双方の相乗効果で地域の活性化を期することが可能であることから、クラフトビール工場の建設を希望します。

委員 G

金谷区には南葉山、金谷山があり、自然にあふれる地区なので、それを生かした事業ができるといいのではないかと思います。具体的なアイデアはなかなか出ないのですが（すみません）。

防災対策チームが立ち上がっていることも考えて、各町内での避難訓練に今までとは違うことを取り入れるとか、小さな集まりのときについでに防災の話をするとか、年間通して防災に触れる機会があるといいと思います。

委員 H

地域活動支援事業に採択されているものをそのまま継続することも大切だが、発展させていくことも必要。一つ一つの活動自体は既に素晴らしいものなので、複数の団体が連携していくことができれば活動に広がりが出てさらに発展していくのではないかと思う。

委員 I

金谷山公園や区内にある自然公園の利用促進

近隣、飲食店との提携による手ぶらで行けるピクニックやBBQプラン
→ヨーデル金谷などの利用促進にもつながる。